

旭川水系の「多段階浸水想定図」と「水害リスクマップ」の公表状況

- 流域治水の考え方の下、水害リスクを考慮したまちづくりや住まい方の工夫、企業の事業継続計画の策定等を推進するためには、水害リスク情報の更なる充実が必要。
- そこで、既存の想定最大規模降雨(L2)や計画規模(L1)の洪水浸水想定区域図に加えて、**中高頻度の降雨規模ごとの浸水深を示す「多段階浸水想定図」、場所毎の浸水頻度を示す「水害リスクマップ」**を新たに作成し、令和3年度末に公表。
- 今回、**河川整備計画に位置付けた整備を反映した「中長期河道」**の河道条件における「多段階浸水想定図」及び「水害リスクマップ」を作成し公表。

■旭川水系旭川・百間川 「多段階浸水想定図」及び「水害リスクマップ」の作成ケース

河川	河川整備の反映時点 (河道の条件)	多段階浸水想定図						各河川整備の反映時点で重ね合わせ 今回公表	水害リスクマップ
		1/10規模	1/30規模	1/50規模	1/100規模	1/150規模	L2規模		①浸水発生、 ②50cm以上、③3m以上
旭川 百間川	現況	○ (浸水なし)	○	○	○	○	○※1	○	
	短期	○ (浸水なし)	○	○	○	○	—※1		○
	中長期	● (浸水なし)	● (浸水なし)	●	●	●	—※1		●

●:今回(令和4年度末)公表 ○:令和3年度末公表
 ※1:L2規模は、水防法に基づく洪水浸水想定区域図として公表済み

旭川水系 多段階浸水想定図・水害リスクマップ【計算条件】

○河道条件

【現況河道】旭川水系旭川・百間川洪水浸水想定区域図(令和2年12月)の作成時点:令和元年度末河道

【短期河道】旭川水系河川整備計画【大臣管理区間】(変更)(令和元年6月)における当面整備完了時点:令和7年度末河道

【中長期河道】旭川水系河川整備計画【大臣管理区間】(変更)(令和元年6月)における整備完了時点:令和21年度末河道

○降雨条件

河川	1/10	1/30	1/50	1/100	1/150	L2	降雨波形
旭川 百間川	158 mm/2日	196 mm/2日	214 mm/2日	241 mm/2日	257 mm/2日	756 mm/48時間	S54.10型

○潮位条件

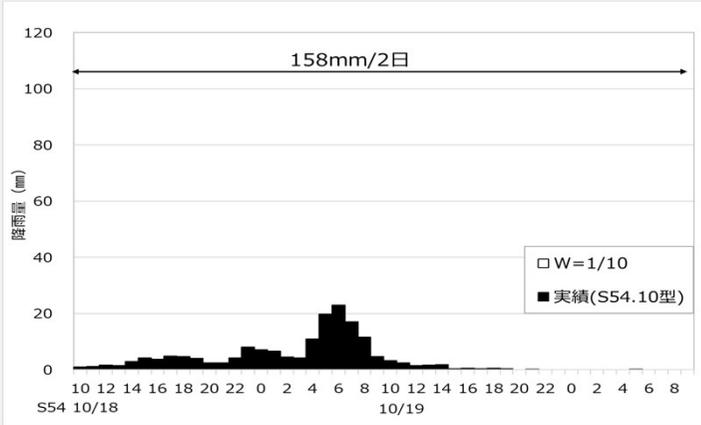
- ・ 1/10～1/150 :河道計画検討に用いている出発水位T.P.+1.9mとなる潮位波形
- ・ 想定最大規模:計画高潮位T.P.+2.95mとなる潮位波形
(水位のピークが河口部の流量ピークと合致するように設定)

○氾濫条件

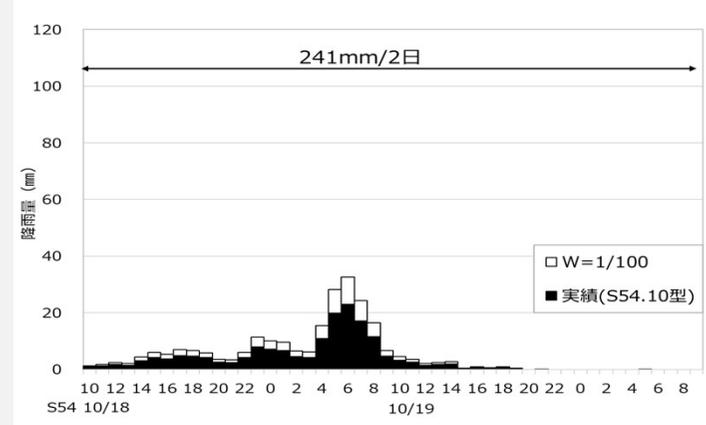
- ・ 破堤高:<完成堤防>HWL
<未完成堤防>max(現況堤防高-計画余裕高、高水敷高、堤内地盤高)

旭川水系 多段階浸水想定図・水害リスクマップ 【降雨条件】

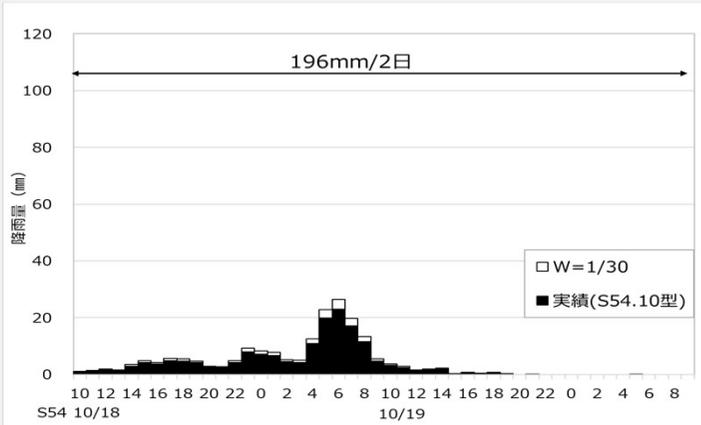
**1/10
降雨**



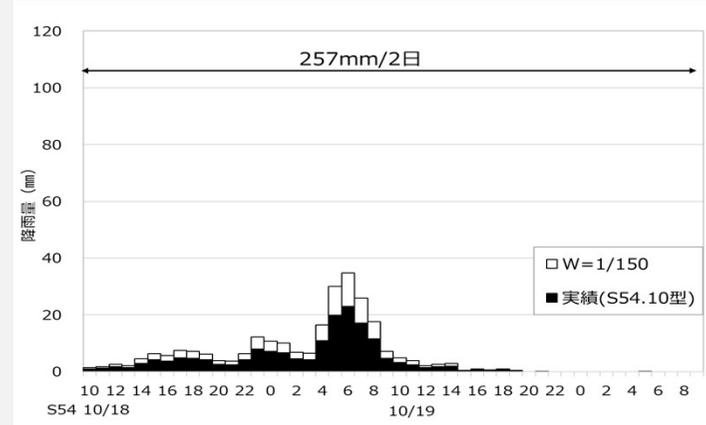
**1/100
降雨**



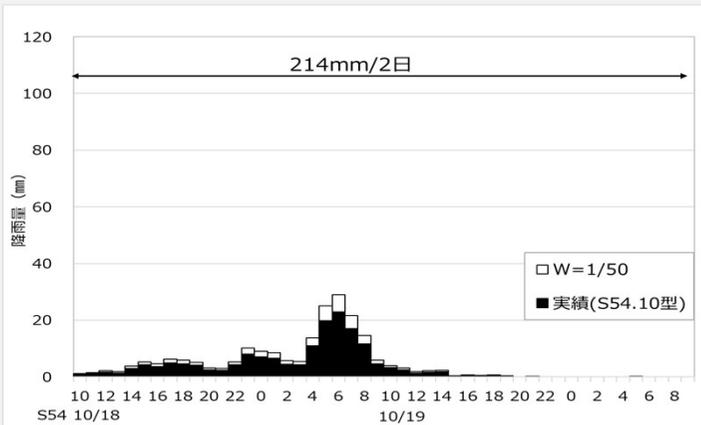
**1/30
降雨**



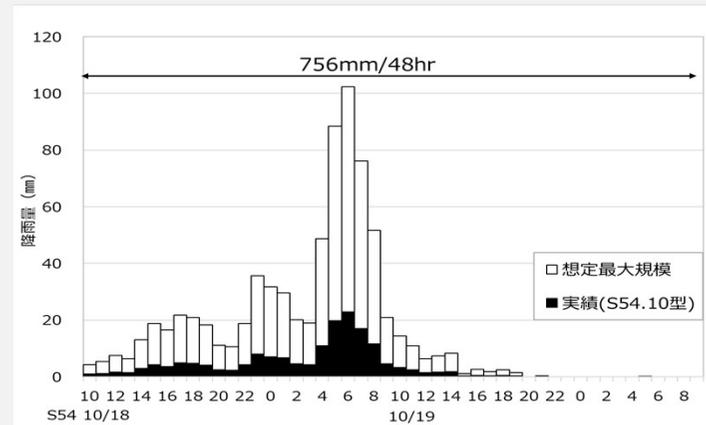
**1/150
降雨**



**1/50
降雨**



**L2
降雨**



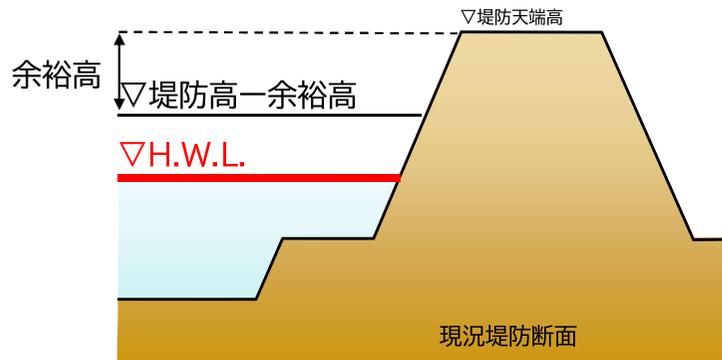
(参考) 多段階浸水想定図及び水害リスクマップの氾濫条件

- リスクマップにおける氾濫条件は、堤防の天端から余裕高を考慮して氾濫開始高を設定し、その高さに河川の水位が到達すると堤防が決壊すると仮定しています(洪水浸水想定区域図と同じ考え方)。
- なお、事業再評価における氾濫条件は、高さだけではなく断面も考慮して氾濫開始高を設定します。

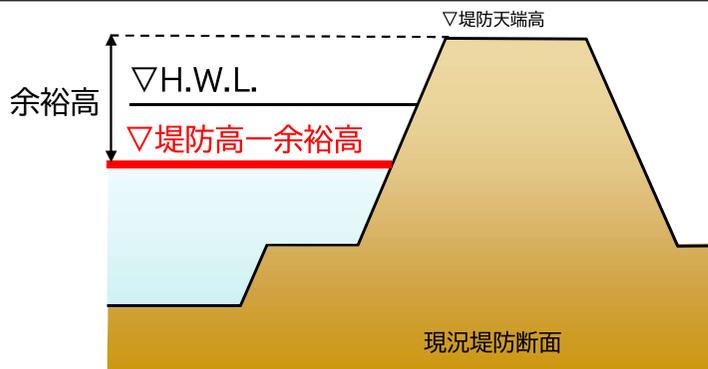
多段階浸水想定図, リスクマップの条件

- 氾濫開始高は、「堤防高-余裕高」とH.W.L.(計画高水位)を比較し、決定します(洪水浸水想定区域図と同じ)。

堤防高-余裕高が H.W.L. より高い場合
⇒ 氾濫開始高は H.W.L.



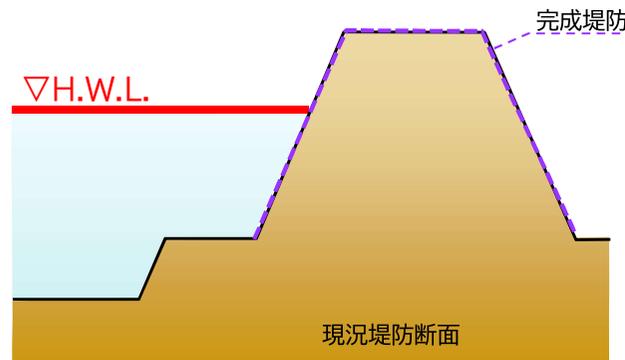
堤防高-余裕高が H.W.L. より低い場合
⇒ 氾濫開始高は堤防高-余裕高



(参考) 事業再評価の条件

- 氾濫開始高は、堤防の整備状況「完成堤防」と「暫定堤防」に応じて、決定します。

完成堤防の場合
⇒ 氾濫開始高は H.W.L.



暫定堤防の場合
⇒ 氾濫開始高は完成堤防が入る堤防高-余裕高

